

# 第34回 県政に関する世論調査の結果について

平成19年12月20日  
千葉県総合企画部報道広報監  
電話043-223-2265

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施しています。

昨年度から年2回実施しており、今回は本年度1回目で県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、本年8月に郵送法で実施しました。

具体的な内容としては、環境と生活、健康と福祉、千葉県の農産物、市民活動、千葉県の施策・政策、広報・広聴活動について県民の意識調査を行いました。

さらに、生き物とその環境を守る取り組み等の県政の主要課題及び「県政への要望」について調査を行いました。

## 1. 調査の設計

(1) 調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女個人

(2) 標本数 3,000人

(3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

(4) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）

(5) 調査時期 平成19年8月2日～8月22日

## 2. 回収結果

有効回収数（率）1,466（48.9％）

## 3. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康と福祉について
- ③千葉県の農産物について
- ④市民活動について
- ⑤千葉県の施策・政策について
- ⑥広報・広聴活動について

(2) 県政の主要課題

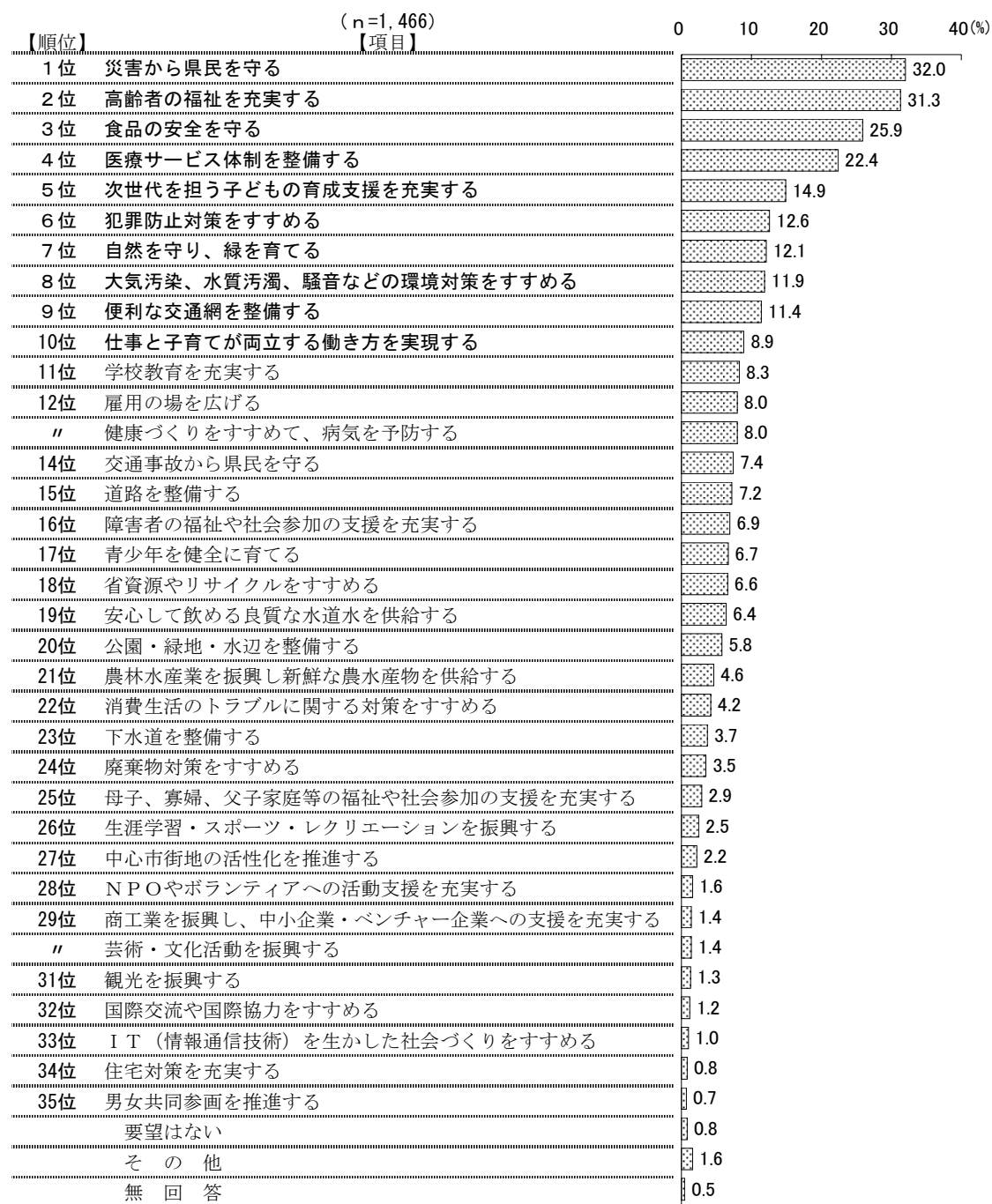
「生き物」とその環境を守る取り組みについて

(3) 県政への要望

## 4. 調査の結果

### 1 県政への要望

#### (1) 県政への要望



#### 今回調査の主な特徴

1. 「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」に対し、県民各層から根強い要望がある。
2. 「災害から県民を守る」が昨年3位から1位、「食品の安全を守る」が昨年7位から3位へと要望順位が上昇。「食品の安全を守る」は、特に50代以上の要望が高い。
3. 30代は男女とも「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が2位、女性は「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」がトップ。

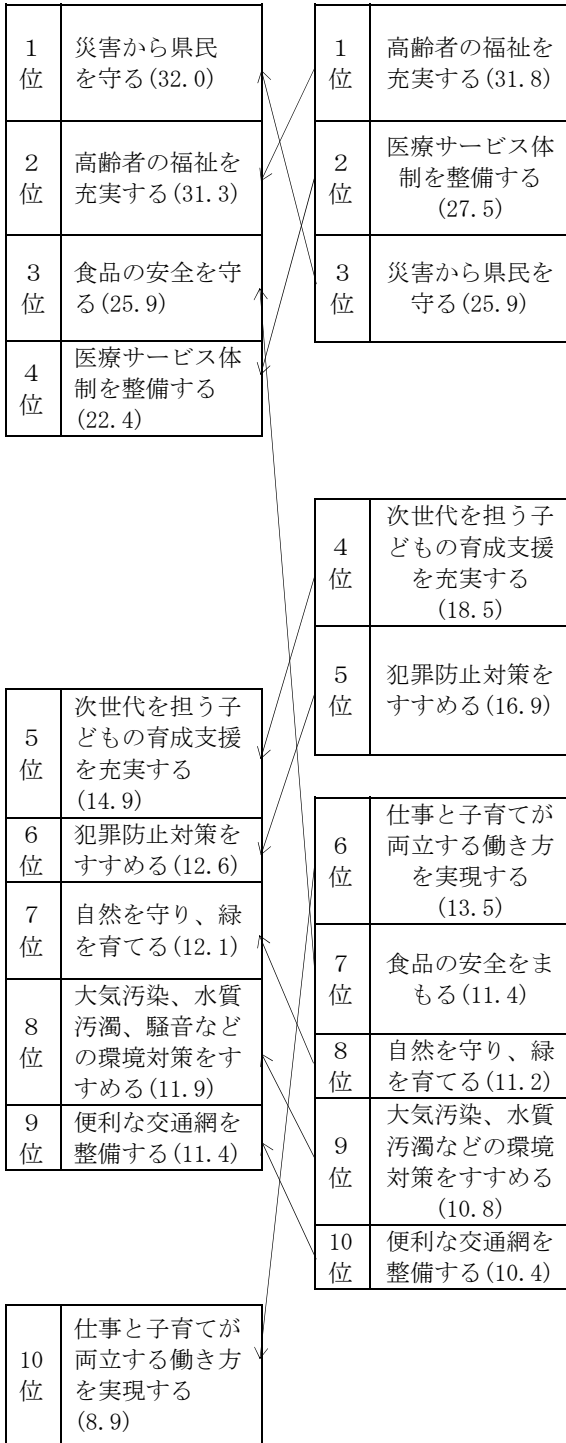
■ 県政への要望／上位 10 項目の推移

《郵送法》

【平成 19 年】  
(n=1, 466)

【平成 18 年】  
(n=1, 467)

37 の選択項目から  
3 つまでの複数回答



《面接法》

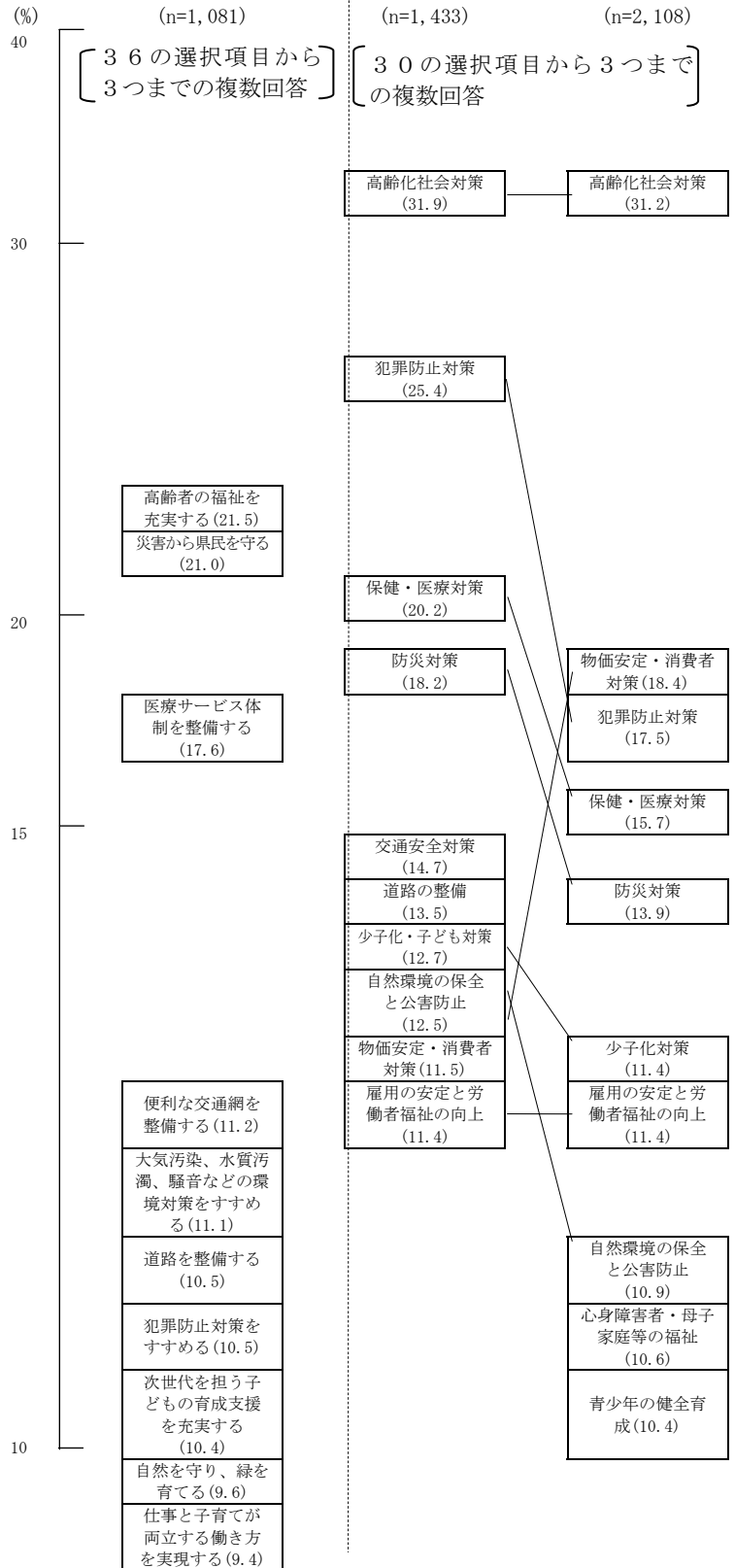
【平成17年】  
(n=1, 081)

【平成16年】  
(n=1, 433)

【平成15年】  
(n=2, 108)

36 の選択項目から  
3 つまでの複数回答

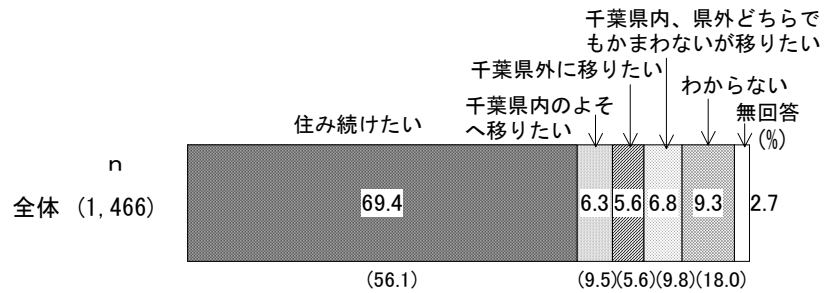
30 の選択項目から 3 つまで  
の複数回答



## 2 環境と生活について

### (1) 今後の居留意向

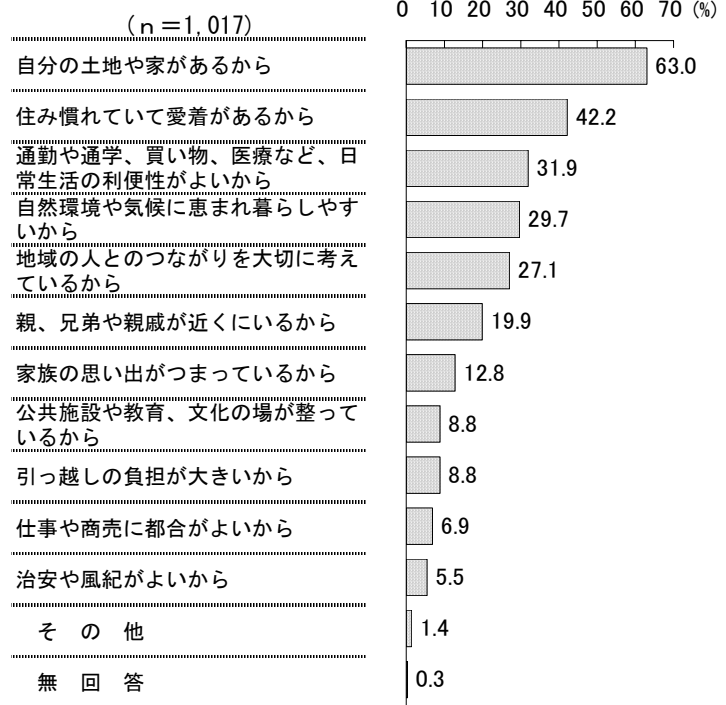
現在住まいの地域に、今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(69.4%)が約7割で多くなっている。一方で、「千葉県内のよそへ移りたい」(6.3%)、「千葉県外に移りたい」(5.6%)、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(6.8%)を合わせると、『移りたい』(18.7%)は約2割である。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

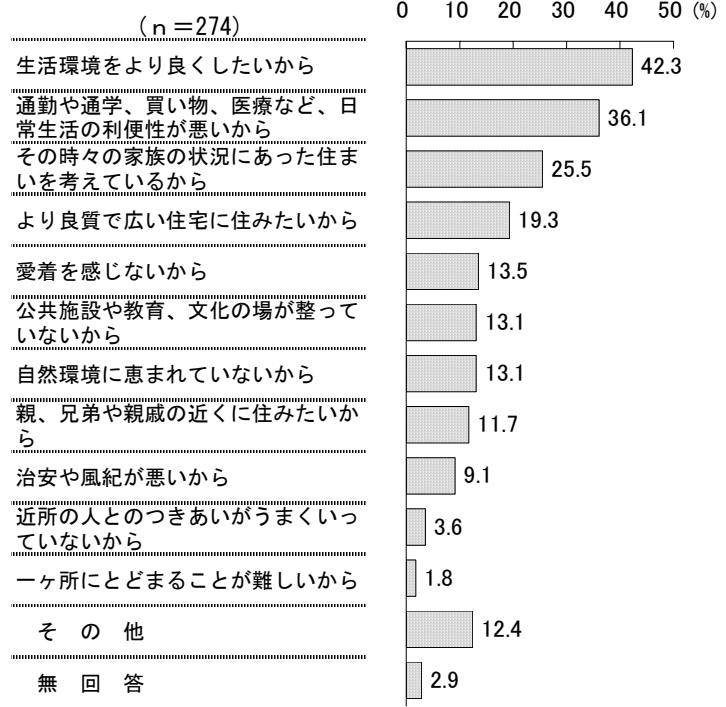
#### (1-1) 住み続けたい理由

「住み続けたい」と回答した1,017人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(63.0%)が6割台半ばとなっており、これに「住み慣れていて愛着があるから」(42.2%)と「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(31.9%)が続く。



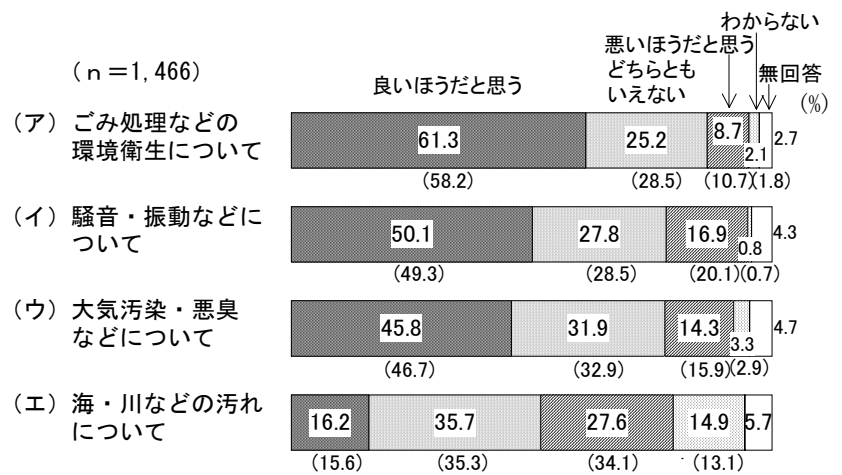
## (1-2) 移りたい理由

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した274人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(42.3%)が4割を超え、これに「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(36.1%)と「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(25.5%)が続く。



## (2) 生活環境について

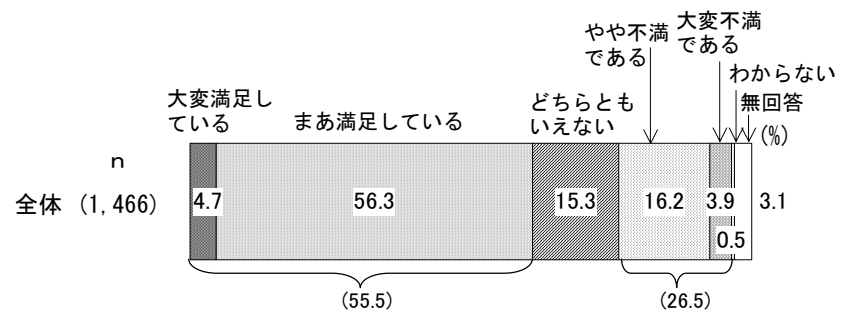
生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、「ゴミ処理などの環境衛生について」(61.3%)で6割を超えている。以下、「騒音・振動などについて」(50.1%)で5割、「大気汚染・悪臭などについて」(45.8%)で4割台半ばとなっている。一方で、「海・川などの汚れについて」は、「良いほうだと思う」(16.2%)が1割台半ばにとどまり、「悪いほうだと思う」(27.6%)が約11ポイント上回っている。



注) 下段の( )書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

### (3) 生活環境全般の満足度

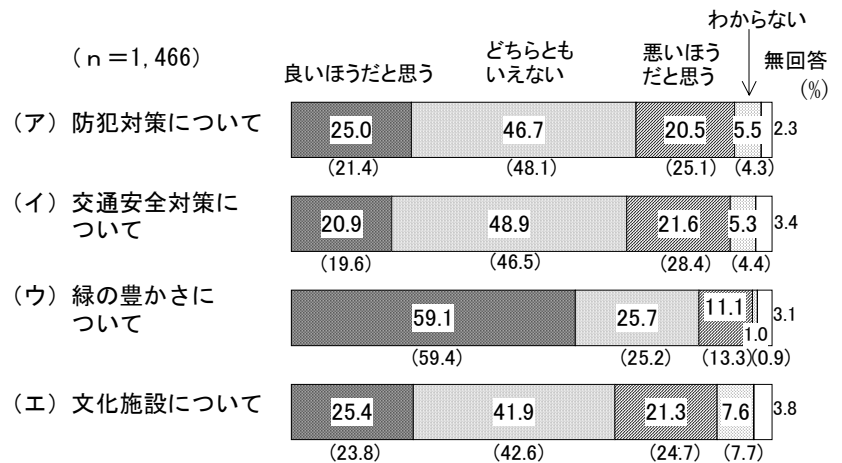
生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.7%)と「まあ満足している」(56.3%)を合わせた『満足している』(61.0%)は6割を超えている。一方、「やや不満である」(16.2%)と「大変不満である」(3.9%)を合わせた『不満である』(20.1%)は2割である。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

### (4) 自然・周辺環境について

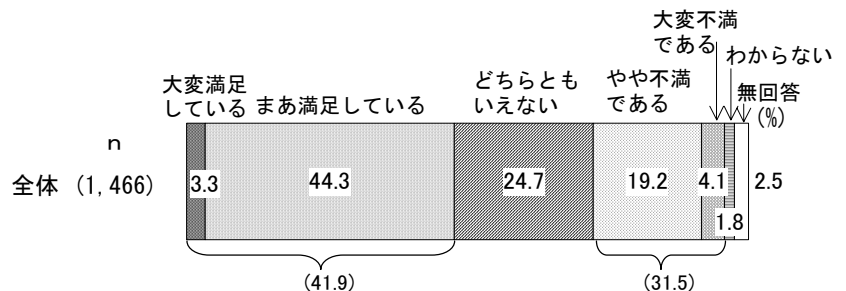
自然・周辺環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈緑の豊かさについて〉(59.1%)で約6割となっている。しかし、それ以外の3項目については、「良いほうだと思う」がいずれも2割台であり、〈交通安全対策について〉は「良いほうだと思う」が「悪いほうだと思う」よりも低くなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

### (5) 自然・周辺環境全般の満足度

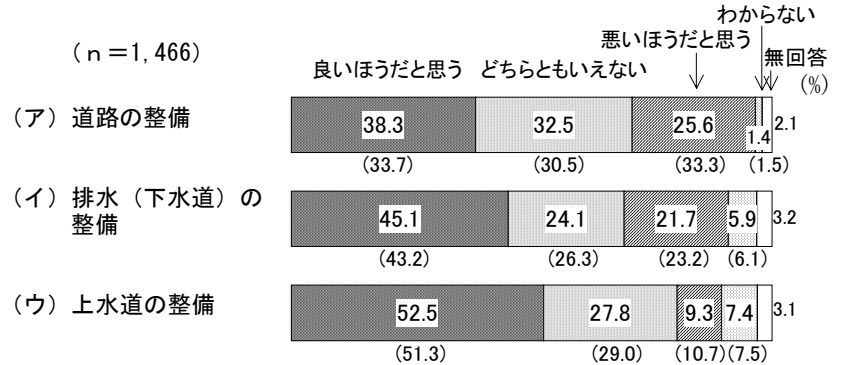
自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(3.3%)と「まあ満足している」(44.3%)を合わせた『満足している』(47.6%)は約5割。一方、「やや不満である」(19.2%)と「大変不満である」(4.1%)を合わせた『不満である』(23.3%)は2割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

## (6) 基盤整備について

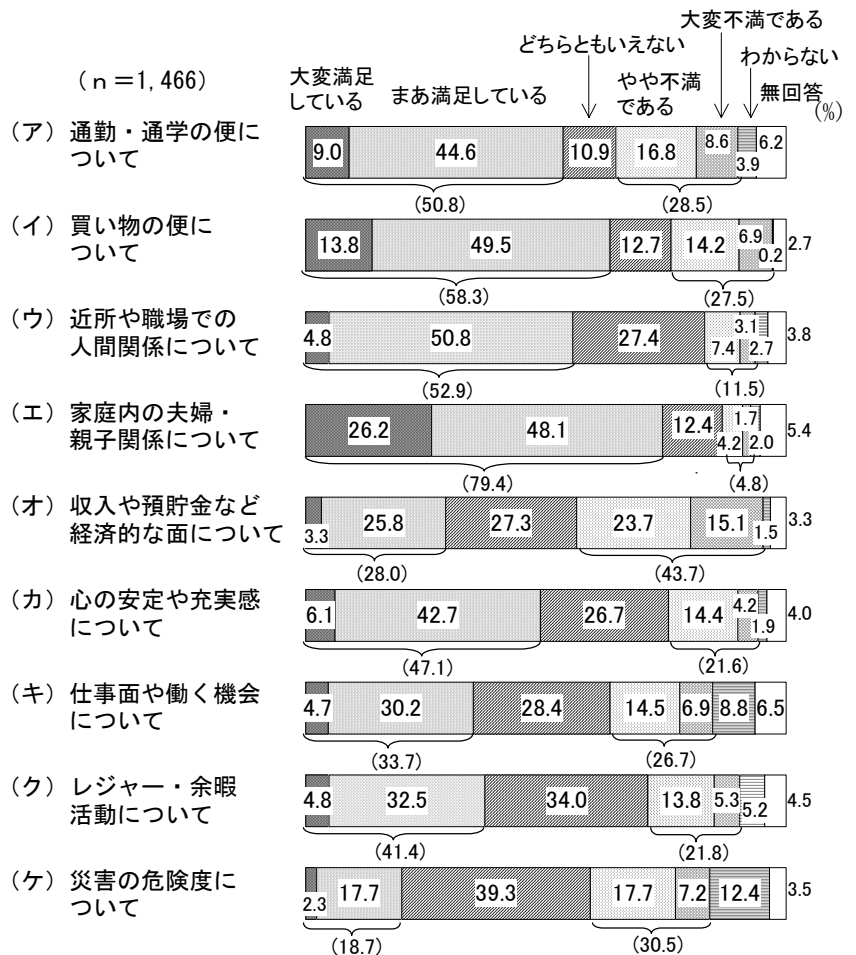
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(52.5%)で5割を超える。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(45.1%)が4割台半ばとなっている。〈道路の整備〉については、「良いほうだと思う」(38.3%)が約4割となっている。



注) 下段の( )書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

## (7) 現在の生活の満足度

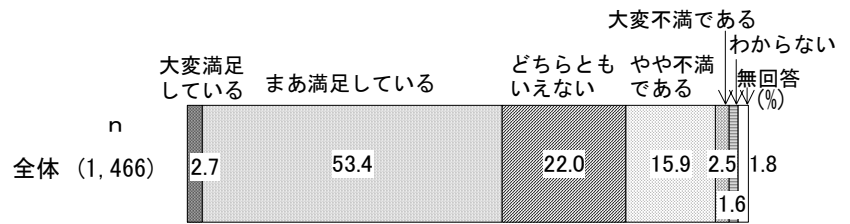
現在の生活に関する9つの項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(74.3%)で7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(63.3%)、〈近所や職場での人間関係について〉(55.6%)と続く。「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』とすると、9項目中7項目で『満足している』が『不満である』より多い中、〈収入や預貯金など経済的な面について〉と〈災害の危険度について〉は、『不満である』が上回っている。



注) 下段の( )書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

## (8) 住生活全般の満足度

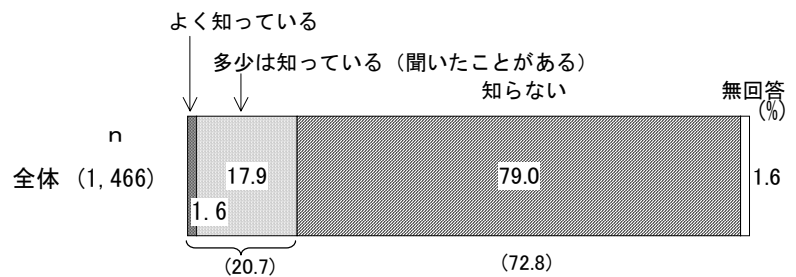
現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（2.7%）と「まあ満足している」（53.4%）を合わせた『満足している』（56.1%）は5割台半ばと多くなっている。一方、「やや不満である」（15.9%）と「大変不満である」（2.5%）を合わせた『不満である』（18.4%）は約2割である。



## 3 健康と福祉について

### (1) 「新たな地域福祉像」の認知度

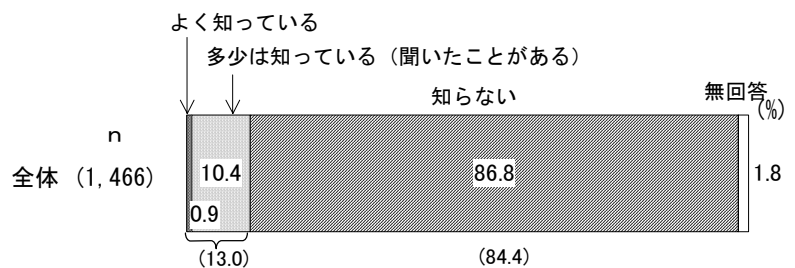
「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」（1.6%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（17.9%）を合わせた、『知っている』（19.5%）が約2割となっている。一方で、「知らない」（79.0%）は約8割で最も多い。



注) 下段の（ ）書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「よく知っている」と「多少は知っている（聞いたことがある）」を合わせた『知っている』及び「知らない」を参考として示している。

### (2) 「健康福祉千葉方式」の認知度

「健康福祉千葉方式」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」（0.9%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（10.4%）を合わせた『知っている』（11.3%）は1割台となっている。一方で、「知らない」（86.8%）は8割台半ばで最も多い。

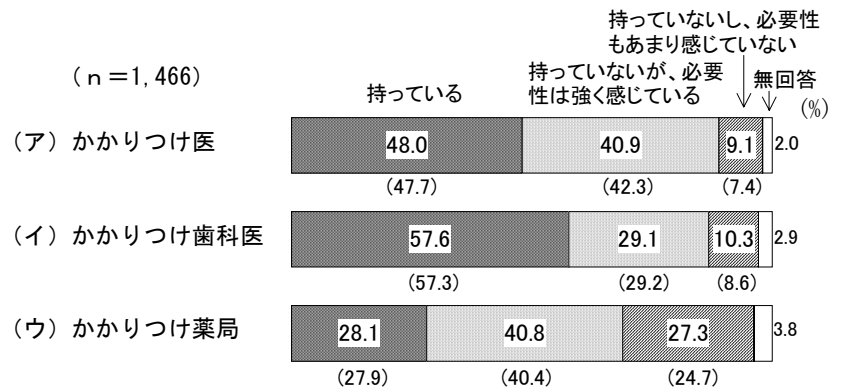


注) 下段の（ ）書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「よく知っている」と「多少は知っている（聞いたことがある）」を合わせた『知っている』及び「知らない」を参考として示している。



### (3) かかりつけ医の有無

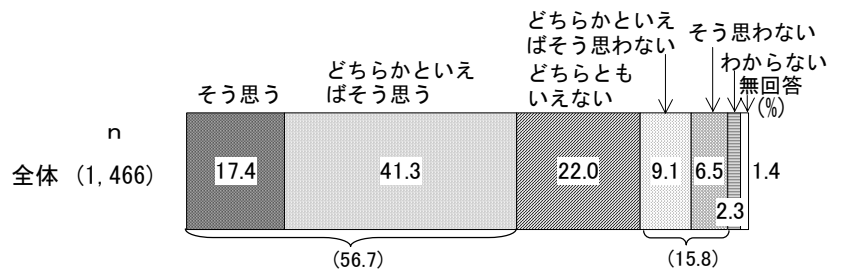
かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は、歯科医 (57.6%) で約6割、医師 (48.0%) で約5割だが、薬局 (28.1%) では約3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は、医師 (40.9%) と薬局 (40.8%) で4割となっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は、薬局 (27.3%) で約3割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 18 年度の同様の項目の調査結果を参考として示している。

### (4) ありのままの姿での生活

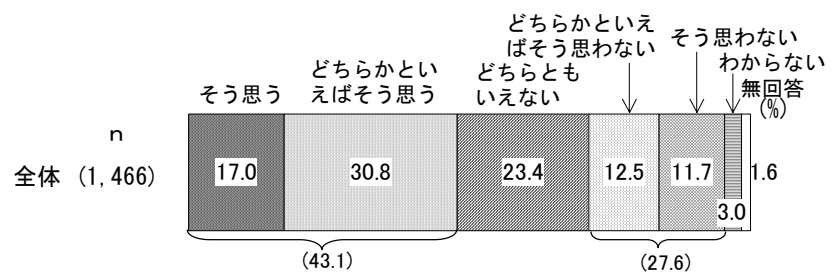
自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.4%) と「どちらかといえばそう思う」(41.3%) を合わせた『そう思う』(58.7%) が約6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.1%) と「そう思わない」(6.5%) を合わせた『そう思わない』(15.6%) は1割台半ばとなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 18 年度の同様の項目の調査結果の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』及び「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を参考として示している。

### (5) 健康づくりに取り組むことができる環境

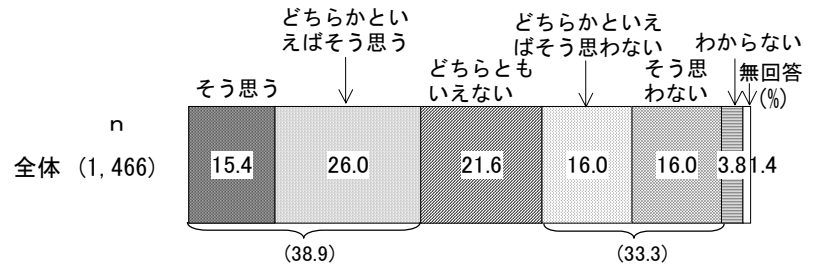
自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(17.0%) と「どちらかといえばそう思う」(30.8%) を合わせた『そう思う』(47.8%) は約5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.5%) と「そう思わない」(11.7%) を合わせた『そう思わない』(24.2%) は2割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 18 年度の同様の項目の調査結果の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』及び「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を参考として示している。

## (6) 安心して受診できる医療体制

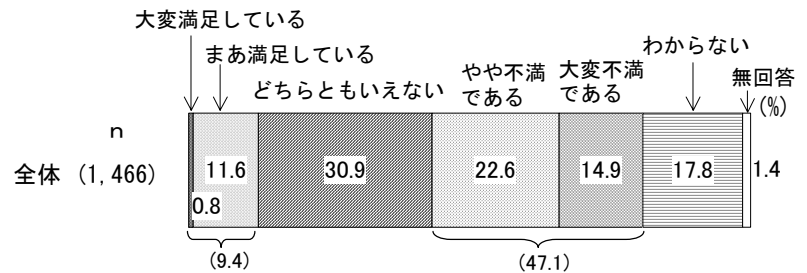
住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(15.4%)と「どちらかといえばそう思う」(26.0%)を合わせた『そう思う』(41.4%)は4割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.0%)と「そう思わない」(16.0%)を合わせた『そう思わない』(32.0%)も3割を超えている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』及び「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を参考として示している。

## (7) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

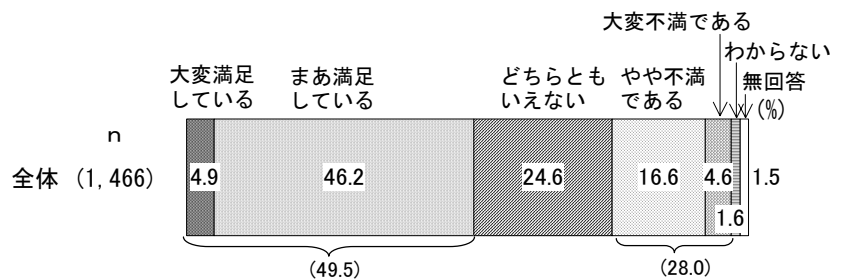
お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.8%)と「まあ満足している」(11.6%)を合わせた『満足している』(12.4%)が1割を超えている。一方、「やや不満である」(22.6%)が2割を超え、「大変不満である」(14.9%)も1割台半ばで、これらを合わせると、『不満である』(37.5%)は約4割となっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

## (8) 自分や家族の健康についての満足度

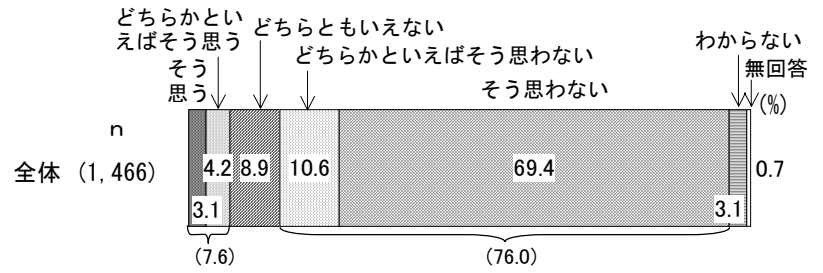
自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.9%)と「まあ満足している」(46.2%)を合わせた『満足している』(51.1%)が5割を超えている。一方、「やや不満である」(16.6%)と「大変不満である」(4.6%)を合わせた『不満である』(21.2%)も2割を超えている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成18年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

## (9) 理不尽な理由による差別等

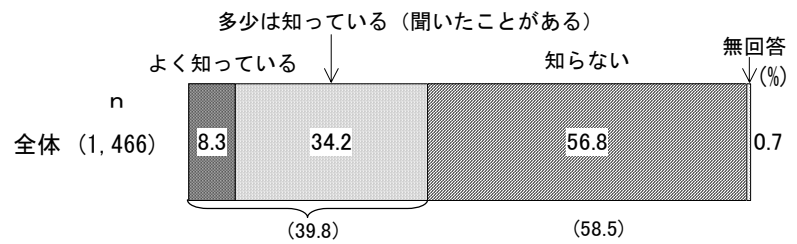
自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(4.2%)を合わせた『そう思う』(7.3%)は約1割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.6%)と、最も多い「そう思わない」(69.4%)を合わせた『そう思わない』(80.0%)が8割となっている。



## 4 千葉県の農産物について

### (1) 「ちばエコ農産物」の認知度

「ちばエコ農産物」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(8.3%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(34.2%)を合わせた『知っている』(42.5%)が4割を超えている。一方、「知らない」(56.8%)は5割台半ばである。



### (2) 千葉産農産物の購入意向

千葉県産農産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(46.7%)が4割台半ばで最も多く、「どちらかといえばそう思う」(31.4%)が3割を超える。これらを合わせた『そう思う』(78.1%)は約8割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(1.2%)と「そう思わない」(2.1%)を合わせた『そう思わない』(3.3%)はわずかである。

